

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 一般用医薬品（OTC）の過量服薬後に受診した者に関する研究

〔研究機関名〕 聖隷三方原病院

〔研究機関の長〕 山本貴道

〔研究責任者〕 前田香（看護部）

〔研究の概要〕

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2024年10月16日～2027年3月31日

目的：一般用医薬品（OTC）の過量服薬後に病院を受診した方の背景、経過を調査します

■ 方法：記述疫学及び質的記述的研究

■ 対象となる患者さん

2023年4月1日～2025年1月末までに一般用医薬品による急性薬物中毒と診断された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の情報を診療録から取得します。

年齢、性別、家族構成、患者の職業、既往歴、合併症、家族歴、生活歴、受診歴、過量服薬を理由とする受診回数、受診した月・曜日・時間、過量服薬した時間、入院期間・来院時の状態（意識レベル、来院方法、発見者、通報者、内服した場所、薬剤の種類と量）、来院時の付き添い者、受診までの経過、薬剤の選択理由、薬剤の入手方法、過量服薬を始めたきっかけ、今回過量服薬した理由、過量服薬に関する情報の入手経路、身近に過量服薬について話をする人の存在の有無等。

■ 外部への試料・情報の提供

研究代表機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供される情報に関し、匿名化した状態で送付されるため、個人を特定できる情報は提供されません。当院が管理する試料・情報・作成した対応表については施錠された場所において適切に管理されます。共同研究機関では、他のコンピューターと切り離され、インターネットへの接続が不可能な専用のコンピューターを使用し、データは外部記憶装置に保管し、鍵のかかるロッカーで保管します。

■ 研究組織

研究代表機関：国立大学法人浜松医科大学

研究責任者：臨床看護学講座 木戸芳史

研究分担者：博士前期課程 前田香
博士前期課程 市川綾乃

研究実施機関：聖隷三方原病院

研究責任者：看護部 前田香

研究分担者：救急科 志賀一博
精神科 西村克彦

■ [問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
前田香、看護部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971